

## コゲラ（キツツキ科） 全長15センチ

冬期間の小鳥たちは、どこでどんな暮らしをしているのでしょうか。

里山や雑木林などが彼らの生活区域であるが、今は人間が簡単に近づくことは出来ません。それでも除雪された道路から眺められるポイントが見つかりました。

葉が枯れて茎と枝だけとなったアメリカセンダンソウの群生地に、コゲラがやってきました。小さな体で動きも素早く、レンズで追いかけるのはなかなか大変です。キツツキ特有の鋭いクチバシで右や左に回転しながら茎を突き、徐々にせりあがって来た。



なんとも可愛い体型です。

茎や枝に潜む虫を探しているのでしょうか。あまりにも早くて、いつ餌を食べているのか分かりません。スローで再生してみると、白っぽい幼虫を引っ張り出していました。何の種類かは分かりません。

コゲラは茎や枝に潜む虫を探すため、あてずっぽうで突いているのでしょうか。下手な鉄砲も何とかでしょうか。それとも何かの手がかりがあるのでしょうか。



クチバシで突いた小さな穴が見える。



鋭いクチバシで突き刺した。

コゲラの行動をつぶさに眺めていると、ヒントがありました。餌探し中でした。時々側頭部を莖や枝に付け、僅かな時間でしが動きを止めたのです。

確証はありませんが、中に潜んでいる虫の動く音を探っているのではないだろうか。コゲラの採餌中に、シジュウカラも近寄って来ました。

真冬は極端な餌不足になっていることから、この場所は貴重な餌場なのです。今だからこそ、じっくりとコゲラの行動を眺めることが出来ました。



幼虫を引っ張りあげた。



綺麗な縞模様です。